

日本物理学会シンポジウムのお知らせ

福島第一原子力発電所の事故は、社会に大きな衝撃をもたらしています。今回の事故を物理学者としてどのように認識、理解し、さらに、我が国のエネルギー源の将来をどう考えるかについて議論するため、以下のようにシンポジウムを開催いたします。

日時：平成23年6月10日 13:00-18:00（開場12:30）

場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階多目的ホール（150名収容可能）

参加者多数で会場が満員の場合、サテライト会場でのご聴講となります。

対象：日本物理学会会員および関連研究者

主催：日本物理学会 協賛：立教大学理学部

「物理学者から見た原子力利用とエネルギー問題」

プログラム

- 13:00-13:05 はじめに 永宮正治（日本物理学会会長）
- 13:05-13:40 福島第一原子力発電所事故について：原子炉の立場から
田中俊一（元日本原子力研究開発機構特別顧問）
- 13:40-13:50 質疑応答
- 13:50-14:20 原子核物理と原子力 井上信（京都大学名誉教授）
- 14:20-14:30 質疑応答
- 14:30-15:00 放射線防護の立場から 柴田徳思（日本原子力研究開発機構 J-PARC センター）
- 15:00-15:30 物理学者の取り組み 大塚孝治（東京大学原子核科学研究センター）
- 15:30-15:40 質疑応答
- 15:40-16:00 休憩
- 16:00-16:30 エネルギーの現状と将来
有馬朗人（武蔵学園）
- 16:30-17:00 日本のエネルギー、世界のエネルギー
北澤宏一（科学技術振興機構）
- 17:00-17:30 高効率太陽電池を目指したシリコン多結晶の高品質化結晶技術の研究開発
中嶋一雄（京都大学客員教授）
- 17:30-17:55 議論
- 17:55-18:00 おわりに 倉本義夫（日本物理学会副会長）